

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no
3

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

厳しさとやさしさで摘む非行の芽 「青少年の非行・被害防止県民大会」

7月7日(木)、青少年の非行被害防止県民大会が開催されました。主催者として青少年総合対策本部長の後藤知事の挨拶に始まり、青少年の健全育成功労者の表彰、高校生の意見発表、講演などがありました。



意見発表では、甲府第一高校1年岩下貴史さんが『土台づくりの時代』、韮崎高校1年中村杏さんが、『過疎化について考える』と題し、自分の考えを語ってくれました。自分の置かれている環境をしっかりと見据え、何をすべきかを真剣に語る姿に、頼もしさを感じました。また、講演は「現代の若者をどう理解し、どう支援するか」という題で、若者教育支援センター代表理事の廣岡政幸氏でした。

最後に、大会宣言案を山梨県PTA協議会の石原初江副会長が朗読して、大会を締めくくりました。



子ども達が熱中するレクレーションとゲーム

「放課後子ども総合プラン第1回指導者研修会」

7月8日(金)、放課後子ども総合プラン第1回指導者研修会が青少年センターリバーズ和戸体育館で開催されました。講師は静岡の体育指導のプロ集団「きのいい羊達」の村松成樹先生です。児童館や放課後児童クラブの担当者約100名が参加しました。

最初は、ボール投げです。遊びを通して正しい投げの動作を身につけさせるプログラムに参加者も納得顔。その後、ドッジボール、室内リレー、縄跳びなどを行いました。村松先生が訴えていたのは、ボールの種類や大きさを変えたり、リレーのバトンに何を使うか(ボール、コーン、レジかご、浮き輪)、なわ跳びの跳び



方(前跳び、後ろ跳びなど)に違いをつけるなどによって、子どもの年齢差、体力差をなくし公平に勝負できるようにするやり方です。みんなが平等に楽しめるように



することはとても重要で、その手法を示してもらえました。また、種目によって全員が動くものもあれば、順番で該当の子のみが動くものもあります。種目の順番を工夫することで、気づかないうちに休憩をとらせることができるという話もありました。最後は、マットを使った綱引き(マット取り合戦)を行い、熱い戦いが繰り広げられました。参加者の興味とやる気を上



手に引き出し、最後まで飽きさせないことを学んだ研修会となりました。

夏休みイベントの報告

暑い夏でしたが、様々なイベントに多くの子どもたちが参加しました！

自然の中で仲間とチャレンジ

甘利山リトルキャンプ (7/26~28)

7月26日(火)、甘利山リトルキャンプが甘利山グリーンロッジおよび甘利山を会場に開催されました。このイベントは、学校や学年の枠を越えた仲間と自然の中で一緒に活動することによって、協調性や自主性を高め、チャレンジ精神を養おうとするものです。葦崎市教育委員会と中央公民館が主催で、今年は4回目です。葦崎市内小学校の4~6年生24名が参加しました。ちなみに、このイベントは毎年定員を上回る申込みがあるようで、今年も定員を超えたため抽選を行いました。



この日は、あいにくの雨模様で、予定していた火おこし体験ができず、代わりに勾玉作りとなりました。作業の前に、勾玉は何のために使われたと考えられているか、勾玉の形は何をかたどったと考えられているかなどについて説明あり、ミニ歴史学習になりました。



そのあと作り方の説明を受け、作業開始です。材料の石に油性ペンで形を描き、砥石で削ります。石は柔らかいので削りやすいのですが、自分の思ったよう

な形に整えるのはなかなか大変です。手を真っ白にして1時間ほど取り組んだところで昼食になりました。

火おこし体験でおこした火を使ってバーベキューをする予定が雨のため変更を余儀なくされ、子ども達が勾玉を作っている間に大人達がグリーンロッジの厨房で食材を調理しました。たくさんの肉や野菜をお腹いっぱい食べたあと、片付け当番の子ども達も手伝って後片付けです。このキャンプでは班ごとにいろいろな係を分担して、みんなで協力し合う場がいくつもあります。指導にあたった教育委員会の方の指示で手際

よく片付けもできました。

午後は木工体験です。雨は降り続けていたため、ロッジのテラスにブルーシートで屋根をかけ、その下で作業しました。のこぎりや玄翁を使うのには慣れていない子どもがほとんどです。市の農林課の方や市内の公民館主事の方々も加わって、手厚いサポートが行われたおかげで、みんな上手に作れました。



2日目は、自然環境学習、班対抗レク、夜観望会(星空観察)、3日目、千頭星山への登山を行い、充実した3日間となりました。

感想文ってどう書けばいいの？

読書感想文書き方教室

夏休みに入った、7月30日(土)甲斐市立竜王図書館では、「読書感想文書き方教室」が開かれました。ワクワク楽しい夏休みですが、一方で自由研究や読書感想文など「夏休みの宿題」に悩まされた経験を思い出す方もおられるでしょう。甲斐市では、そんな悩みにこたえるために「読書感想文書き方教室」を開催しています。



午前には17名の小学1, 2年生が、お母さんやお父さん、おじいちゃんとともに、午後には18名の小学3, 4年生が、子どもだけで参加しました。



講師は竜王南小学校教諭二宮直人先生です。先生は、まず、心を動かす本を読みましょ。そして、心に残ったことを綴るものが読書感想文で、あらすじを書いたりするだけではダメですよと、わかりやすく教えたあと、実際に昔話の「ももたろう」を学習材にして「好きなところ」に線を引かせたり、「好きなわけ」を書かせたりして、感想を文章にまとめ、それぞれ書いたものを読みあいました。

心を動かされた感動を文章にしていけるのは難しいことですが、そのことを通して、より深く作品を読んだり、考えを深めたりすることができたと思いました。

能の世界を体験しよう！

文学館夏休みワークショップ

日本の伝統芸能“能”は「難しい」「退屈」という印象があります。何しろ650年の伝統を継承した世界にもまれな古典芸能ですから。



7月27日、県立美術館講堂で、“能”の基本的な知識を学び、基本の所作を体験できるワークショップが、文学館と総合教育センターの共催で開かれました。



講師の佐久間二郎先生は、1972年甲府生まれ。小学生から能の世界に憧れ、修行を重ね、観世流能楽師となり、全国各地で

舞台活動を行っています。その一方、県立大学非常勤講師も勤められたり、学生から一般を対象とした能楽講座も開催されたりと、広く“能”の普及に尽力されています。

この日も、気さくで明るい先生の説明に、小学生が元気に応答したり、みんなで基本の姿勢やすり足をしてみたり、楽しいやりとりのなかで、和やかな雰囲気での体験講座になりました。小学生、保護者、一般の方、先生方と充実した体験ができました。みなさんも先生の主催する講座に参加してはいかがでしょうか。詳細は佐久間二郎公式HP「花のみちるべ」へ。



養蚕業にふれる

親子おぼこさんセミナーinとよとみ

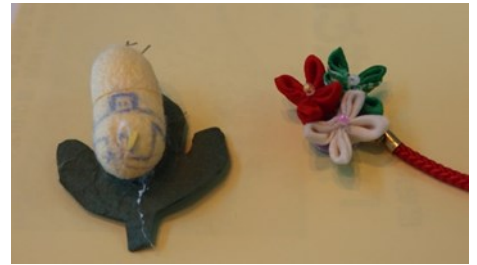
「おぼこさん」って、聞いたことありますか。「おぼこさん」とは、甲州弁で蚕のことです。農家に収入をもたらしてくれる大切な存在なので、甲州弁で「子ども」を意味する「ぼこ」に「お」「さん」という敬意をあらわす語がついたといわれています。かつて養蚕業は山梨県の主要な産業で、特に中央市豊富は盛んでした。その足跡を広く知ってもらうため中央市豊富郷土資料館が企画展「最後の養蚕家と豊富」(6/18～9/25)を行っています。

8月13日、14日には関連イベント「親子おぼこさんセミナー」が行われました。養蚕業の歴史や蚕の生態などについて



て学んだ後、昔の糸取り道具を使って実際に繭から糸をとる体験をしました。糸車の回転数によって、糸の太さが変わるそうです。最後に、郷土資料館で育てた蚕の繭を使ったマスコットや絹の古裂を使ったストラップをつくりました。この資料館は、蚕に関する詳し

い展示が充実しています。興味がある方、一見の価値ありです。



賢治ワールドにようこそ！ 県立文学館 文学講座

県立文学館では、文学講座を開講しています。その講座の一つが、「宮沢賢治童話の世界」です。小学校での授業経験もある牛山恵先生(都留文科大学名誉教授)は、参加者が、自由な読み手として作品に出会える講演をしています。

岩手の風土(イーハトーブ)と、賢治の宇宙観を反映した言語(オノマトペや造語など)で構成された賢治童話には「賢治ワールド」と呼ぶべき独特の世界があります。人や動物などの生き方を通して、様々なメッセージをわたしたちに投げ



かけています。その世界に楽しみながら、「なぜだろう?」「どういうことなのかな?」と、読みながら何度も立ち止まり、考えます。そんなとき、先生が紹介する様々な他の作品との比較や関連のお話は、さらにより深く楽しむきっかけを与えてくれます。「恐怖と感動の賢治ワールド」「自己犠牲か自己燃焼か」「賢治童話に描かれる悪」など様々なテーマで毎回作品を読み解きます。わくわくするお話を楽しみに、講堂をうめるほど多くの方が参加しています。

秋以降は9/15,10/13,11/10,12/8と予定されています。詳しくは文学館へお問い合わせください。

峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

地域教育フォーラムを 開催します！

期日：平成28年10月27日(木)

会場：日本航空学園 J-shipホール

講演：「ワクワク子育て親育ち
— 自己肯定感を高める子育て —」

講師：山梨県立大学 人間福祉学部 教授
高野 牧子 氏

日	程
□受付	13:30 ~ 14:00
□アトラクション	13:50 ~ 14:00
□開会行事	14:00 ~ 14:15
□基調提案	14:15 ~ 14:25
□講演	14:30 ~ 16:10
□閉会行事	16:10 ~ 16:20

※一般で参加を希望する方は下記へ御連絡ください。

平成28年度 『中北.com』 No.3
編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援担当
飯田 矢崎
〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046
Fax 0551-23-3013
中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/>